



林野火災に注意してください！

【林野火災の発生状況】

京都市内の林野火災過去5年間の発生状況（件）

林野火災は例年、春に多く発生しています。

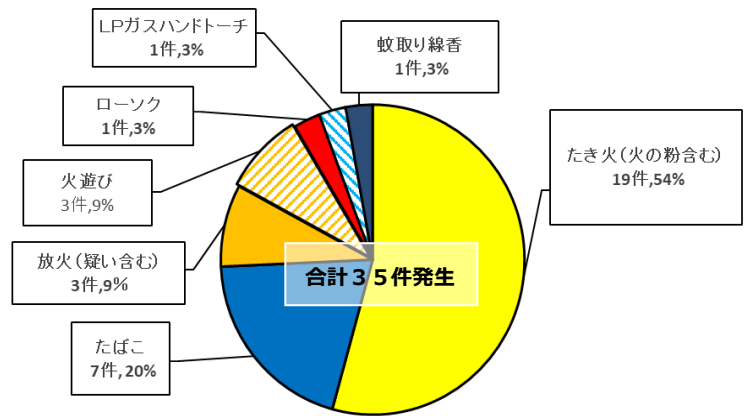
この時季に林野火災が多いのは、枯葉が地表に積もり、下草が枯れているうえ、降雨量が少なく空気が乾燥し、火災が発生しやすい気象条件となっていることや、山における火入れなどの作業、山菜採りや森林レクリエーションなど入山者が増えることによるものと考えられます。

平成27年	2
平成28年	2
平成29年	3
平成30年	3
令和元年	3

【林野火災防止のための注意点】

- 喫煙後の吸い殻の火は必ず消し、ポイ捨てはしない。
- 強風注意報や乾燥注意報などが発表されているときは、火気の使用は控える。
- 枯葉や下草が多い所では、たき火をしない。
- たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火する。

京都市内の林野火災原因別発生状況（過去10年間）



令和2年2月1日からガソリンを携行缶で購入する際は、本人確認が必要です！

昨年7月に伏見区で発生したアニメーション制作会社での放火火災を受けて、ガソリンを販売するため容器に詰め替えるときは、ガソリンスタンドにおいて「顧客の本人確認（運転免許証の提示など）」と「使用目的の確認」などを行うことが義務付けられました。皆様の御理解と御協力をお願いします。

⚠️ ガソリンを取り扱うときの注意事項 ⚠️

灯油用ポリ容器 ガソリン携行缶



ガソリンは、灯油用ポリ容器に入れることはできません！！

！噴出注意！

- ★ 周囲の安全を確認
- ★ ふたを開ける前にエンジン停止
- ★ エア抜きをする
- ★ 高温の場所禁止

ガソリン携行缶に貼られている注意事項に留意して取り扱ってください！！



セルフスタンドにおいても、ガソリン容器への詰め替えは、ガソリンスタンドの従業員が行う必要があります！！